

第2節 学校教育課

〔総括概要〕

栃木市総合計画「基本方針・V」に基づき、人生の礎となる「生きる力」を身に付けた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施し、未来を担う栃木市の子どもが「自分のよさをのびのびと發揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を育むことを目指した。

まず、学力向上については、教員の授業力の向上に向けたリーフレット「とち介の学び」をもとに、訪問の要請を受けた小中学校に対して指導助言を行った。そして、令和元年度の「全国学力・学習状況調査」と「とちぎっ子学習状況調査」の結果を基にした家庭用・教職員用のリーフレットを作成・配布した。3学期には、市内全44小中学校に対して、指導主事による学力向上に係る学校訪問を実施し、校長と学習指導主任から各校の成果と課題を確認した。また、放課後教室については、本年度も市内全30小学校で開催し、基礎基本の定着と学習意欲の向上を図った。更に、学力向上推進研究校として東陽ブロックの小中学校を指定した研究については、教員の指導力の向上を図る研究を進め、3か年研究の最終年度を終えた。

小中一貫教育については、「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、市内14の中学校ブロックで、合同学校運営協議会を開催し、地域ぐるみでの小中一貫教育を推進した。更に、小中一貫教育研修会では、一貫性のある教育課程の編成を目指して、教頭と学習指導主任を対象とした研修会を開催し、各中学校ブロックで協議をするほか、宇都宮大学の松本敏教授から指導助言をいただいた。

人権教育については、平成30・令和元年度の2か年、大平ブロックの小中学校を人権教育実践研究校に指定して、「人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成」を目指した研究を推進した。

道徳教育については、平成30・令和元年度の2か年、大平南ブロックの小中学校を道徳教育推進研究校に指定して、「ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童生徒の育成」を目指した研究を推進した。

特別支援教育については、平成30・令和元年度の2か年、栃木中央小学校を研究校に指定して、「一人一人が生き生きと学び、どの子も『分かる』を実感できる授業の在り方」を研究主題として研究を推進した。本研究の協力校として、栃木東中学校、栃木西中学校、栃木第三小学校、栃木第五小学校を指定した。

外国語教育については、本年度、栃木南ブロックの小中学校を外国語教育実践研究校に指定し、目指す子ども像「多様性を受容し、主体的に思いや考えを伝え合う子ども～ふるさと栃木から世界へ！～」の具現化に向けた研究を推進した。

いじめ対策の取組としては、いじめ問題に対する児童生徒の主体的な行動を推進することを目的とし「“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラム」を開催し、市内44校の代表児童生徒を募り、いじめ防止の取組について意見交換を行った。

学務係

1 学務に関する事業

(1) 教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

(単位：人)

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
51	50	81	46	46
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
14	2	2	21	35

(2) 教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

- ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
- ・人事異動に伴う事務
- ・学級編制に関する事務
- ・学校事故に関する事務
- ・各種選考試験に関する事務
- ・教職員評価制度に関する事務
- ・表彰に関する事務
- ・公務災害に関する事務
- ・教員免許制度に関する事務
- ・教職員の履歴に関する事務

(3) 教職員給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者の記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されている者はいないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員団体に関する事務を行った。

(5) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況

(単位：人)

区分	小学校		中学校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
平成30年5月1日	7,729	350	3,997	157
令和元年5月1日	7,605	352	3,865	159
比較	-124	2	-132	2

(6) 小中学校教育環境整備事業(理科教育設備整備等事業)

理科教育設備整備費等補助金により、小学校15校、中学校13校の理科及び算数・数学教育に関する設備の整備を行った。

	整備額（円）
小学校	901, 647
中学校	612, 120
合 計	1, 513, 767

(7) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務 (単位：冊)

区分		冊 数
小学校	前期用	69, 884
	前期転学用	163
	後期用	17, 475
	後期転学用	96
中学校	前期用	42, 303
	前期転学用	102
	後期用	-
	後期転学用	68
合 計		130, 091

(8) 教師用教科書及び指導書等購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区分	冊数(冊)	費用(円)
教師用教科書 前後期用	806	389, 196
教師用指導書等 前後期用	228	2, 561, 564
合 計	1, 034	2, 950, 760

(9) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家の集団宿泊生活を通じて学校教育活動を行う、臨海自然教室を実施した。

- 市内27の小学校で実施、参加児童数1, 265名

(1校は別事業を実施、2校は隔年実施のため本年度未実施)

(10) 特色ある学校づくり奨励補助金事業

学校独自の「特色ある学校づくり」を推進することを目的として、学校が実施する特色ある教育活動に要する経費に対し、補助金を交付した。

- 市内43の小中学校で実施、交付金額2, 000, 000円

指導係

1 指導に関する事業

(1) 学校訪問指導

学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育等に関して指導した。

ア 共同訪問

栃木第五小、南小、千塚小、赤麻小、赤津小、栃木東中、藤岡第二中

イ 研究学校

(ア) 市指定人権教育実践研究校

・大平東小、大平西小、大平中

(イ) 市指定学力向上推進研究校

・大宮南小、大宮北小、国府南小、国府北小、東陽中

(ウ) 市指定放課後教室研究校

・市内全小学校

(エ) 市指定道徳教育推進研究校

・大平中央小、大平南小、大平南中

(オ) 特別支援教育推進研究校

・栃木中央小

・協力校（栃木第三小、栃木第五小、栃木東中、栃木西中）

(カ) 市指定外国語教育実践研究校

・栃木第四小、南小、栃木南中

ウ 学校訪問実施状況

No	学校名	教科等	期日		備考
1	栃木中央小	国語・理科	6月26日	水	特別支援教育推進研究校
2	栃木中央小	国語・理科	10月2日	水	特別支援教育推進研究校
3	栃木中央小	国語・理科	11月15日	金	特別支援教育推進研究公開授業
4	栃木第三小	算数・理科	11月6日	水	低学年・高学年 各1授業
5	栃木第四小	外国語活動	6月26日	水	外国語教育実践研究校
6	栃木第四小	グローバルデー	9月27日	金	外国語教育実践研究校
7	栃木第四小	外国語活動	12月12日	木	外国語教育実践研究公開授業
8	栃木第五小	各教科	7月1日	月	共同訪問
9	栃木第五小	算数・国語	10月30日	水	
10	南小	グローバルデー	10月1日	火	外国語教育実践研究校
11	南小	各教科	10月2日	水	共同訪問
12	南小	外国語活動	10月17日	木	外国語教育実践研究校
13	南小	外国語活動	2月13日	木	外国語教育実践研究公開授業
14	大宮南小	算数(2授業)	6月12日	水	
15	大宮南小	算数(2授業)	9月12日	木	
16	大宮南小	算数(2授業)	11月8日	金	学力向上推進研究公開授業
17	大宮北小	国語(2授業)	7月3日	水	
18	大宮北小	国語(2授業)	11月8日	金	学力向上推進研究公開授業
19	皆川城東小	講話	7月26日	金	ブロック小中合同研修会
20	皆川城東小	国語(2年)	9月11日	水	
21	皆川城東小	国語(3年)	10月9日	水	ブロック小中合同研修会

22	吹上小	生活科	6月 7日	金	幼小連携推進者研修会（公開授業）
23	吹上小	国語（2授業）	6月 17日	月	
24	吹上小	算数（2授業）	10月 23日	水	
25	千塚小	道徳	6月 26日	水	
26	千塚小	各教科	10月 15日	火	共同訪問
27	寺尾小	算数	7月 3日	水	
28	寺尾小	算数	11月 27日	水	
29	国府南小	国語	9月 10日	火	
30	国府南小	国語	10月 31日	木	学力向上推進研究公開授業
31	国府北小	国語（2授業）	6月 18日	火	
32	国府北小	国語（2授業）	10月 31日	木	学力向上推進研究公開授業
33	大平東小	社会	6月 18日	火	人権教育実践研究校
34	大平東小	道徳	10月 30日	水	人権教育実践研究校
35	大平東小	道徳	11月 12日	火	
36	大平南小	道徳	6月 26日	水	道徳教育推進研究校
37	大平南小	道徳（2授業）	11月 7日	木	道徳教育推進研究公開授業
38	大平西小	道徳	6月 19日	水	人権教育実践研究校
39	大平西小	社会	11月 6日	水	人権教育実践研究校
40	大平西小	社会	11月 12日	火	
41	大平中央小	道徳（2授業）	7月 1日	月	道徳教育推進研究校
42	大平中央小	道徳（4授業）	11月 7日	木	道徳教育推進研究公開授業
43	藤岡小	体育・社会	10月 23日	水	
44	部屋小	算数	6月 17日	月	
45	部屋小	算数	10月 2日	水	小中一貫教育ブロック研修会
46	赤麻小	各教科	5月 15日	水	共同訪問
47	赤麻小	講話	6月 25日	火	学びの UD 化
48	赤麻小	算数	11月 21日	木	
49	三鴨小	外国語活動	6月 14日	金	
50	合戦場小	算数	11月 13日	水	
51	家中小	算数	11月 20日	水	
52	赤津小	算数	6月 24日	月	
53	赤津小	各教科	10月 18日	金	共同訪問
54	西方小	算数	6月 5日	水	
55	西方小	算数	11月 6日	水	
56	真名子小	算数	10月 10日	木	
57	真名子小	算数	11月 11日	月	
58	真名子小	算数（2授業）	11月 20日	水	小中一貫教育ブロック研修会
59	岩舟小	国語	10月 7日	月	

60	岩舟小	国語	11月 28日	木	
61	静和小	算数	6月 19日	水	
62	静和小	算数	10月 28日	月	
63	小野寺南小	算数	7月 3日	水	
64	小野寺南小	算数	10月 2日	水	
65	小野寺北小	国語	6月 26日	水	
66	栃木東中	各教科	5月 22日	水	共同訪問
67	栃木東中	数学	7月 3日	水	
68	栃木東中	理科	10月 30日	水	
69	栃木東中	英語	1月 15日	水	
70	栃木西中	数学(2授業)	7月 11日	木	
71	栃木南中	英語	7月 9日	火	外国語教育実践研究校
72	栃木南中	英語	2月 20日	木	外国語教育実践研究公開授業
73	東陽中	音楽・理科	9月 18日	水	
74	東陽中	国語・英語	10月 8日	火	
75	東陽中	社会・数学・英語	11月 19日	火	学力向上推進研究公開授業
76	東陽中	道徳(2授業)	1月 31日	金	
77	皆川中	講話	7月 26日	金	小中一貫教育ブロック研修会
78	皆川中	道徳	11月 20日	水	小中一貫教育ブロック研修会
79	吹上中	数学	6月 10日	月	
80	吹上中	数学	12月 2日	月	
81	寺尾中	道徳	11月 7日	木	
82	大平中	英語	6月 12日	水	人権教育実践研究校
83	大平中	社会・道徳	9月 25日	水	人権教育実践研究校
84	大平中	社会・道徳	11月 12日	火	人権教育実践研究公開授業
85	大平南中	道徳	6月 6日	木	道徳教育推進研究校
86	大平南中	道徳(4授業)	11月 14日	木	道徳教育推進研究公開授業
87	藤岡第一中	道徳・講話	9月 18日	水	道徳の評価についての講話
88	藤岡第二中	各教科	6月 6日	木	共同訪問
89	藤岡第二中	社会	11月 26日	火	
90	都賀中	数学	7月 1日	月	
91	都賀中	英語	11月 26日	火	
92	岩舟中	理科	9月 20日	金	

・学校課題 【別表】学校課題・研究主題等一覧参照

(2) 教育研究発表会

市内の幼稚園、保育園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員を対象に、学校や個人等で取り組んできた教育実践研究の成果を発表して共有し、教職員の資質及び指導力の向上並びに市内の園児・児童・生徒の健全な育成を図ることを目的に行った。

・実施日 1月23日(木)午後2時～

- ・発表会場 國學院大學栃木学園教育センター
- ・口頭発表者 11件（小3件、中4件、高1件、中学校ブロック3件）
- ・紙上発表者 6件（小4件、中2件）
- ・参加者 市内幼稚園、保育園、認定こども園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員等 276人

(3) 人権教育研修

各人権課題に対する人権教育主任としての見識を高め、教職員としての資質向上を図るために小中学校の人権教育主任等を対象に人権教育研修会を開催した。

また、大平中学校区の小中学校を人権教育実践研究校に指定し、人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成を目指した実践的な研究を実施した。

ア 第1回栃木市人権教育研修会

- ・実施日 5月28日（火）
- ・場所 国府公民館
- ・講話 「栃木県の人権教育推進について」
- ・講師 下都賀教育事務所学校支援課指導主事　臼井　誠　氏
- ・講話・協議 「多様な性と人権」
- ・講師 宇都宮大学教育学部准教授　良　香織　氏
- ・参加者 各小中学校の人権教育主任

イ 第2回栃木市人権教育研修会

- ・実施日 8月7日（水）
- ・場所 大平隣保館
- ・講話 「同和問題の現状と課題」
- ・講師 部落解放同盟栃木県連合会事務局長　戸田　眞　氏
- ・参加者 各小中学校1～2名の教職員（主に教職10年目までの教員対象）

ウ 研究指定校(大平ブロック：大平中、大平東小、大平西小)での取組

(ア) 研究授業・授業研究会の実施

- ・実施日 6月12日（水）大平中
6月18日（火）大平東小
6月19日（水）大平西小
9月25日（水）大平中
10月30日（水）大平東小
11月 6日（水）大平西小

(イ) 公開研究発表会の開催

- ・実施日 11月12日（火）大平中、大平東小、大平西小

(ウ) 推進委員会と推進協議会の開催

- ・小中学校が連携した研究を推進するための会議の実施

推進協議会（校長、教頭、教務主任、研究担当者）

実施回数 4回 5月21日（火）、10月24日（木）、1月14日（火）

2月10日（月）

推進委員会（教務主任、研究担当者）

実施回数16回 4月4日(木)、5月17日(金)、7月16日(火)、8月8日(木)
8月30日(金)、9月5日(木)、9月13日(金)
9月20日(金)、9月25日(水)、10月3日(木)
10月11日(金)、10月21日(月)、10月24日(木)
11月8日(金)、1月10日(金)、2月20日(木)

(4) 外国語指導助手学校派遣

小・中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手(ALT) 前期22名、後期25名を各学校に派遣し、外国語を通じたコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を開催した。

小・中学校ごとに訪問計画を立て、市内全小・中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日に訪問した。

延べ訪問日数 (単位: 日)

中学校	1,461
小学校	2,311
合 計	3,772

(5) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法や校内支援体制の整備について学び、資質の向上を図るために、研修会等を開催した。

ア 特別支援教育コーディネーター連絡会議

- ・実施回数 1回
- ・対象 特別支援教育コーディネーター 参加者44名

イ 児童生徒支援研修会

- ・実施回数 1回
- ・対象 特別支援教育コーディネーター 児童生徒指導担当 参加者80名

ウ 通級指導教室担当者研修会

- ・実施回数 2回
- ・対象 通級指導教室担当者 参加者11名

エ 学校支援員研修会

- ・実施回数 2回
- ・対象 全支援員 参加者64名

オ 特別支援学級担当者研修会

- ・実施回数 1回
- ・対象 特別支援学級担当者 参加者72名

カ 臨床心理士や学校教育支援専門員による全校巡回訪問支援等

(6) 幼・保・小連絡協議会

栃木市内の幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校の連携を図ることにより、幼児・児童の教育効果を一層高めるために、研修会等を開催した。

ア 代表者会議(年2回)

イ 全体研修会（平成30年度幼小連携推進者の講話）

- ・参加者 幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校教職員 計77人

ウ 幼保小教職員相互職場体験研修

区分	参加者 (人)	期間 (日)
幼稚園・保育園から小学校へ	26	26
小学校から幼稚園・保育園へ	30	30

エ 地域別研修会（栃木・都賀・西方地域、大平・藤岡・岩舟地域、各2回）

- ・参加者：第1回67名、第2回（令和元年東日本台風による大雨被害のため中止）
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の共有（指導案・日案等を通して）
- ・就学先の学校との情報の交換

(7) 地域ぐるみ児童生徒指導

児童生徒の健全育成を図るため、学校と家庭、地域が連携し、各中学校区での情報交換や教育講演会の開催、小・中・高の異校種間による合同研修会等を実施した。

ア 14中学校区児童生徒指導連絡協議会

各中学校区で教育講演会や健全育成推進活動を展開

- ・実施期間 6月～2月

イ 栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換や合同研究会を開催

- ・実施期間 4月～3月

ウ 児童生徒支援研修会

小学校児童指導主任、中学校生徒指導主事、特別支援コーディネーターによる合同研修会を開催

- ・実施日 8月6日（火）

エ 各部会

部会名	実施回数または実施日
中学校部会	毎月1回
中・高部会	11月1日（金）

(8) 適応指導教室運営に関する事務

適応指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校への復帰のための自立を促し、学校生活への適応を図るためにの指導・支援及び保護者に対する教育相談を行った。

- ・適応指導教室通級人数 38人（学校復帰人数27人）

（単位：件）

来所相談	1,396
電話相談	1,211
学校訪問	85
家庭訪問	32
合 計	2,724

(9) スクールソーシャルワーカー配置事業

社会福祉の専門的な知識技術を有するスクールソーシャルワーカーを2名配置し、学校内や家庭生活において問題を抱える児童生徒に対して、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、問題の解決を図った。

ア 実施状況

- ・対応件数 129件（うち終結した件数55件、他機関へ引き継いだ件数57件、引き続き対応している件数17件）

(10) 防災教育推進事業

児童生徒が災害発生時に、自ら危険を予測し回避するために、災害に関する知識に基づいて的確に判断し、迅速に行動する力や、自他の命を尊重し、最善を尽くし「主体的に行動する」態度を育成するための防災教育の充実を図った。

ア 栃木市防災教育基本プログラムの活用

- ・各校の各教科等の年間指導計画上に防災教育との関連を明記、栃木市防災教育基本プログラムを活用した防災教育の系統的・計画的な実施（実施校数：44校）

イ 実践的体験活動の充実

- ・緊急地震速報等を活用した実践的な避難訓練を実施（実施校数：44校）

(11) 小中一貫教育推進事業

「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、平成29年度から市内全小中学校で実施した。

各中学校ブロックで設定した目指す子ども像の実現のために、重点目標を設定しブロックならではの義務教育9年間の一貫性のある教育を推進した。

令和元年度は、市内全14ブロックで合同学校運営協議会（ブロック会議）を実施し、地域ぐるみでの小中一貫教育を推進した。

ア 合同学校運営協議会（ブロック会議）

- ・栃木東ブロック 6月11日（火） 栃木市民会館
- ・栃木西ブロック 7月18日（木） 栃木西中
- ・栃木南ブロック 8月 5日（月） 栃木南中
- ・東陽ブロック 6月14日（金） 国府公民館
- ・皆川ブロック 6月17日（月） 皆川公民館
- ・吹上ブロック 6月11日（火） 吹上公民館
- ・寺尾ブロック 6月12日（水） 寺尾公民館
- ・大平ブロック 6月20日（木） 大平公民館
- ・大平南ブロック 6月20日（木） 大平公民館
- ・藤岡第一ブロック 5月28日（火） 藤岡公民館
- ・藤岡第二ブロック 5月28日（火） 藤岡公民館
- ・都賀ブロック 6月 7日（金） 都賀公民館
- ・西方ブロック 6月 3日（月） 西方公民館
- ・岩舟ブロック 6月13日（木） 岩舟公民館

イ 栃木市小中一貫教育研修会

- ・実施日 8月21日（水）
- ・場 所 西方総合文化体育館サブアリーナ
- ・内 容 説明「小中一貫教育を生かした学力向上P D C Aサイクル」
研究協議「小中一貫教育を生かした学力向上について」
講話「小中一貫教育を生かした学力向上について」
講師 宇都宮大学 教授 松本 敏 氏

【別表】学校課題・研究主題等一覧

学校名	学校課題・研究主題	教科等	備考
栃木中央小	一人一人が生き生きと学び、どの子も「分かる」を実感できる授業の在り方 ～かかわりあいの中で学ぶ国語科・理科の授業実践を通して～	国語科 理科	
栃木第三小	学び合いを生かした確かな学力の育成 ～自分の考えを「書く」「話す」力を伸ばす指導の工夫～	全教科	
栃木第四小	自分の思いや考えを互いに伝えられる子どもの育成 ～豊かなコミュニケーション力を育む外国語活動の工夫～	外国語活動	
栃木第五小	「学ぶ力」を育む学習指導の工夫 ～自分の考えを広げ深める対話的な学びをとおして～	全教科・領域	
南小	多様性を受容し主体的に思いや考えを伝え合う子ども ～ふるさと栃木から世界へ！～	外国語活動	
大宮南小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成 ～関わり合いの中で、コミュニケーションを高めるための指導法の工夫～	算数科	小規模特認校 (市指定) 学力向上推進 研究校 (市指定)
大宮北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成～国語科 説明文・物語文の読み取りをとおして～	国語科	学力向上推進 研究校 (市指定)
皆川城東小	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育の推進 ～自他のよさを認め、共に学び高め合う児童生徒の育成～	国語科	
吹上小	自分の考えをもち、学び合う子どもの育成 ～国語科と算数科における主体的・対話的な活動を通して～	国語科 算数科	
千塚小	自分の思いや考えを伝え合い、自分の考えをより深めることができる子どもの育成 ～本気で聞き合い、本音で話し合う授業を通して～	道徳	

寺尾小	一人一人が主体的に思考し、自分の考えを表現できる子どもの育成～学業指導を中心とした集団づくり・授業作り～	算数科	
国府南小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成 ～読み取れる力を付ける「説明文教材」の指導の工夫～	国語科	小規模特認校 (市指定) 学力向上推進研究校 (市指定)
国府北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成 ～協働的な学びの充実を目指して～	国語科	学力向上推進研究校 (市指定)
大平東小	人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童の育成	社会科・道徳	人権教育実践研究校 (市指定)
大平南小	ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成 ～主体的に考え、伝え合う道徳の授業の工夫～	道徳	道徳教育推進研究校 (市指定)
大平西小	人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童・生徒の育成	社会科・道徳	人権教育実践研究校 (市指定)
大平中央小	ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成 ～主体的に考え、伝え合う道徳の授業の工夫～	道徳	道徳教育推進研究校 (市指定)
藤岡小	思考力を高め、楽しく分かる授業作り	全教科	
部屋小	主体的に表現できる児童の育成 ～多様な考えを引き出すための手立ての工夫～	国語科・算数科を中心に	
赤麻小	「わかる!」「できる!」を楽しみながら、考え方表現する力を高める授業の創造 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた算数科の指導を通して～	算数科	
三鴨小	つながりのある学びの展開 ～伝え合う力を使って、学んだことを生かす学び(生きる力)～～	全教科	
合戦場小	かかわりを通して自分の考えを深める児童の育成～対話的な授業づくりの工夫～	算数科	

家中小	自ら学び生き生きと活動できる児童の育成～自らの考えを表し、学び合う学習活動の展開～	国語科 算数科	
赤津小	自分の考えをもち 意欲的に学び合う子どもの育成 ～お互いの考えを伝え合い、深める活動を通して～	国語科 算数科	
西方小	主体的に取り組み深く考える子の育成 ～数学的活動の充実と達成感のある授業づくり～	算数科	
真名子小	よく考え、自ら学ぶ子の育成 ～目的意識をもって主体的に学習に取り組む児童を育てる～	算数科	小規模特認校 (市指定)
岩舟小	思考力・判断力・表現力を育む授業の工夫・改善」～各教科等の言語活動を充実させる授業実践を通して～	全教科・領域	
静和小	数学的な思考力・判断力・表現力を育てる指導法の工夫	算数科	
小野寺南小	自分の考えをもち、伝え合い・深め合う児童の育成 ～算数科の課題解決学習を通して～	算数科	
小野寺北小	生き生きと伝え合う児童の育成 ～話合い活動の充実をめざして～	各教科・領域	小規模特認校 (市指定)
栃木東中	「一人一人が生き生きと学び、どの子も「分かる」を実感できる授業の在り方」～一人一人の生徒の実態を踏まえた学力の保証を目指して～	理科	
栃木西中	「基礎基本の徹底と分かって楽しい授業」を目指して～「とち介の学び」による学び合い授業の充実～	全教科	
栃木南中	基礎・基本の習得と活用のバランスのとれた学力向上 ～個々の家庭学習力の向上を目指しながら～	教科指導全般 (特に国語、社会、数学、理科、英語の5教科)	
東陽中	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成 ～生徒の考え方をつなぎ、集団で学ぶよさを生かした授業づくり（学業指導の推進）～	全教科 全領域	学力向上推進 研究校 (市指定)

皆川中	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育の推進 ～自他のよさを認め、共に学び高め合う児童生徒の育成～	全教科（道徳を含む）、特別活動、総合的な学習の時間	
吹上中	表現力を育成する指導方法の工夫～自己の考えを積極的に伝え合い、深い学びにつながる活動を通して～	国語科を中心とした全教科等	
寺尾中	確かな学力の育成を目指した指導法の工夫～「学び合い」を取り入れた授業の実践を通して～	全教科 全領域	
大平中	人権感覚を磨き、自ら考え、自ら行動できる生徒の育成 ～自尊感情を育む教育活動の工夫と授業・体験活動における人権学習の推進を目指して～	社会科・英語科・道徳	人権教育実践研究校 (市指定)
大平南中	ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成 ～主体的に考え、伝え合う道徳の授業の工夫～	道徳	道徳教育推進研究校 (市指定)
藤岡第一中	「安心・自信・意欲」を高めるための「わかる授業」づくりと「自立した学習者」を育成するための指導の充実	全教科	
藤岡第二中	「自他を尊重し意欲的に学び、自ら力を伸ばせる生徒の育成」 ～発展的課題解決学習と表現力育成を通して～	全教科	
都賀中	基礎・基本の力を高め、自ら学び、課題解決できる生徒の育成 ～できた・分かった・楽しい「授業づくり」をとおして～	数学科・英語科	
西方中	「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた学習指導の工夫・改善～学び合いと振り返りの充実を目指して～	全教科	
岩舟中	学習支援ボランティアの活用を学習意欲の向上に生かす	全教科	

*表記につきましては、各学校から報告された文言で示しております。